

～Frequently Asked Questions～

よくある質問

【市の施策、特色等】

Q1 川越市の特色、強みは何か。

A 川越市は、都心から電車で30分程度の首都圏に位置しています。小江戸と呼ばれる豊かな歴史と交通の便を活かした観光地として知られていますが、観光だけではなく、農業・流通業・商業・工業などがバランスよく発展しています。これらの様々な分野の強みを活かしたまちづくりを進めていくことができます。

Q2 川越市の主要な施策は何か。

A 将来都市像である「人がつながり、魅力があふれ、だれもが住み続けたいまち川越」の実現に向け、第四次川越市総合計画を策定し、この計画に基づいた取り組みを進めています。後期基本計画（計画期間：令和3年度から令和7年度）では福祉、教育、環境等の8分野から52の施策を掲げています。

Q3 川越市だからできる仕事は何か。

A 川越市は平成15年（2003年）に埼玉県内で初めて中核市に移行しました。中核市には、都道府県が行うこととされている事務の内、身体障害者の手帳の交付、診療所、助産所の開設許可、産業廃棄物処理業の指導監査、土地区画整理組合の設立の許可等、約2,500の事務が移譲されます。

これにより、市民にさらに身近な立場から、そのニーズに合った、質の高いサービスを提供することができます。また、川越市の実情にあった個性豊かなまちづくりを推進することができます。

Q4 川越市が抱えている課題は何か。

A 経済情勢や雇用環境の変化に加え、少子高齢化や人口構造の変化を受けて、市の財政は今後も厳しい状況が続くと見込まれています。市民ニーズが多様化、複雑化している中で、限られた行財政資源を効果的に活用していくことが求められています。

Q5 職員の意見を直接施策に反映させるような仕組みはあるか。

A 職員の創意工夫による改善の意見や考案の提出を奨励して事務能率の向上を図るとともに職員の勤務意欲を高めることを目的とする「事務改善提案」制度があります。優秀な改善案は市政に取り入れます。

Q6 川越市職員の人数と平均年齢は。

A 川越市には、令和4年4月1日現在、2,316人の職員がいます。このうち女性性は908人で、全体の39.2%です。

また、職員全体の平均年齢は42.8歳となっています。

Q7 川越市職員の市内・市外在住者の比率は。

A 令和4年4月1日現在、2,316人の職員のうち川越市内在住者は1,414人で、全体の61.1%です。

【採用後の処遇・人事等について】

Q1 専門職は、何人くらいいるのか。

A 令和4年4月1日現在の事務職以外の職種の種類は、次のとおりです。

なお、配属先、職務内容の概要については募集案内をご覧ください。

○土木：146人（うち女性6人）

○電気：27人（うち女性0人）

○機械：14人（うち女性0人）

○化学：16人（うち女性1人）



川越市マスコットキャラクター ときも

Q2 異動の周期について

A 原則として5年を目安に異動します。ただし、新規採用職員については3年を目安に異動します。

Q3 昇任試験について

A 昇任試験は、実施していません。

Q4 育児休業等の取得状況について

A 令和3年度の育児休業等の取得状況については以下のとおりです。

	育児休業	部分休業
男性職員	17人(15人)	33人(19人)
女性職員	97人(36人)	102人(40人)

表中のカッコ内の数字は、令和3年度中に新たに休業制度を取得した者の内数です。

※ 育児休業とは、3歳に満たない子を養育する場合に取得できる制度です。

※ 部分休業とは、小学校就学前の子を養育する場合に取得できる制度で、勤務時間の始めと終わりに合計で2時間の範囲内で取得できます。

【採用試験について】

Q1 採用予定人員は、増える可能性はあるのか。

A 職員の数条例で決まっており、欠員状況に応じて職員を採用しています。現在の採用予定人員は、募集案内を作成した時点での欠員状況によって決定しています。したがって、最終合格者が決まるまでの間に新たに欠員が生じた場合は増える可能性があります。

Q2 過去の採用予定者数と最終合格者数は。

A 職員採用試験の採用予定者数と最終合格者数は以下のとおりです。

	令和3年度（令和4年4月1日採用） 職員採用試験	
	採用予定者数	最終合格者数
土木	10人	3人
土木（民間企業等職務経験者）		
電気	1人	2人
機械	2人	0人
機械（民間企業等職務経験者）		
化学	1人	0人
事務（障害者対象）	6人	1人

Q3 昨年度（令和3年度）の最終合格者の男女比率は。

A 令和3年度（令和4年4月1日採用）の最終合格者は76人中、男性が39人、女性が37人です。

Q4 昨年度（令和3年度）の最終合格者の新卒、既卒の比率は。

A 令和3年度（令和4年4月1日採用）の最終合格者は76人中、新卒が35人、既卒が41人です。

Q5 他市町村の出身者は、不利にならないのか。

A 不利にはなりません。令和3年度（令和4年4月1日採用）の最終合格者は76人中、市内が27人、市外が49人です。

Q6 第一次試験の内容について

A1 ≪土木・電気・機械・化学≫

○教養試験：40問で五肢択一のマークシート方式です。難易度は大卒程度です。

○専門試験：30問で五肢択一のマークシート方式です。各職種（土木、電気、機械、化学）に関連する専門科目となります。

○性格特性検査：150問で公務員に求められる資質をみる検査です。

A2 ≪土木・電気・機械≫（民間企業等職務経験者）

○SPI3-G：言語分野と非言語分野で職務遂行に必要な総合的な基礎能力をみる試験です。

○性格特性検査：150問で公務員に求められる資質をみる検査です。

A3 ≪事務（障害者対象）≫

○教養試験：40問で五肢択一の問題です。難易度は高卒程度です。

○性格特性検査：150問で公務員に求められる資質をみる検査です。

Q7 第二次試験の内容について

A ≪土木・電気・機械・化学≫

≪土木・電気・機械≫（民間企業等職務経験者）

≪事務（障害者対象）≫

論文試験・面接試験を実施します。

なお、論文試験は第二次試験科目として第一次試験日に受験者全員に実施しますが、第一次試験合格者に限り採点を行います。

○論文試験：字数は1,200字以内、制限時間90分で行う予定です。

○面接試験：個人面接を実施します。